

【マネジメントの考え方】

①基本理念

誠実性・客観性・倫理観こそが信頼につながるため、これを基本理念とする。

②意識

会計監査の品質を持続的に向上するため、総括代表社員から全構成員に対して、適宜品質向上のためのコミュニケーションを行うのみならず、小規模組織であることを生かし、社員や専門要員の区別なく意見を述べることができる風通しの良い組織であり続ける。そのために、各構成員は自己研鑽に常に努めることとする。また、被監査会社に対しては、経営者とのコミュニケーションを重視し、批判機能の発揮とともに指導機能を発揮し、適正な会計を促すことで企業価値向上に資する。

③意欲・姿勢

清流監査法人は少数精銳の会計士によって構成されており、監査の有効性を損なわない範囲で効率的に監査を実施することが可能であるが、監査対象会社の新規受嘱に当たっては、十分にリスク評価を行った上で、監査資源の確保をはじめとした品質管理を最優先に考え検討する。

④具体的な行動

清流監査法人では、社員会及び構成員全員が出席する研修会を通じて、総括代表社員の考え方を構成員に伝達し、双方向のコミュニケーションを行うことにより、監査の品質維持・向上を図っている。また、監査現場にも社員が常駐し、自由な議論が可能である。

構成員の監査チームへのアサインにおいては、監査品質を重視し、被監査会社に対して生かすことのできる経験を有する専門要員の確保など、適切な人材を配置できるよう心掛けている。

被監査会社の経営者や監査役等とは、頻繁にコミュニケーションを図ることができる環境を構築しており、重要な課題や問題点をタイムリーに把握し対処できるようにしている。

清流監査法人は構成員数 30 名未満のフラットな組織であるが、内部通報制度も採用しており、研修会や監査現場でのコミュニケーションでは把握できない問題点等の把握にも努めており、社員へ情報伝達される体制を構築している。